



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月9日

上場会社名 TOWA株式会社
 コード番号 6315 URL <https://www.towajapan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 柴原 信隆
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

上場取引所 東

TEL 075 - 692 - 0251

配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向けウェブ説明会

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,869	10.5	1,087		1,227		889	
2020年3月期第2四半期	11,641	23.9	181		283		201	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,316百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 636百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	35.55	
2020年3月期第2四半期	8.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	44,742	28,114	62.2
2020年3月期	43,124	27,017	62.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 27,838百万円 2020年3月期 26,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		16.00	16.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,770	6.0	2,310	184.4	2,450	278.7	1,720	366.4	68.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年11月9日)公表いたしました「2021年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	25,021,832 株	2020年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	12,684 株	2020年3月期	12,620 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	25,009,183 株	2020年3月期2Q	25,009,276 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 2020年5月28日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。業績予想に関する詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
3. 当社は、2020年11月10日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会(ウェブ)を開催する予定です。決算説明会資料および四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策緩和とこれともなう経済活動の再開により、消費や生産活動に改善の兆しが現れたものの、欧州での感染再拡大などを背景に、再び景気悪化への懸念が高まりました。日本経済につきましては、海外経済の改善により米国や中国向けの輸出に持ち直しの動きが見られるものの、景気回復に力強さは見られず、依然として厳しい状況が続きました。

半導体業界におきましては、米国政府による中国企業への輸出規制強化や、中国政府による対抗措置の検討など、米中対立の激化で市場に先行き不透明感はあるものの、次世代通信規格「5G」向け関連投資の拡大、テレワークやオンライン授業の普及をきっかけとしたサーバー向け需要の増加などにより、半導体需要は堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、半導体の微細化や積層化、モジュール化が進みTOWA独自のコンプレッション技術のニーズが高まる市場において、同技術を用いた様々なソリューションをお客様に提供してまいりました。その結果、当社の半導体製造装置売上に占めるコンプレッション金型・装置の売上高比率が上昇し、収益性の改善に貢献しました。また、中国の子会社で設計から生産、販売までを一貫して行う新たなトランスファ装置（機種名：SSN1240）の開発を完了し、2020年10月22日にTOWA蘇州工場にて初号機の出荷式を催しました。SSN1240は、市場の拡大にともない自動機生産のニーズが高まるパワー系ディスクリート半導体などのローエンド、ミドルレンジ製品向けのオートモーディング装置です。当社は半導体モーディング装置のリーディングカンパニーとして、市場が求めるローエンド、ミドルレンジ製品の自動機生産への貢献を果たすとともに、市場シェアのさらなる拡大により、“世界のモールドプロセスをTOWAに!!”の実現を引き続き目指してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症による経営成績への影響につきましては、生産、出荷体制及び装置据付作業などに大きな遅延はありません。また、これらの対応にともなう大幅なコストの増加は無く、現時点において当社事業への影響は軽微であります。また、欧州などで感染が再拡大していることから、今後の状況を注視しつつ、引き続きグループ全体で感染防止策を徹底し事業活動を行ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりであります。

売上高	128億69百万円（前年同期比12億28百万円、10.5%増）
営業利益	10億87百万円（前年同期は営業損失1億81百万円）
経常利益	12億27百万円（前年同期は経常損失2億83百万円）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8億89百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億1百万円）

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、前第4四半期より設備投資について様子見をしていた台湾OSATが、5G関連需要の拡大にともない投資を再開したことや、半導体内製法の推進などによる中国地域での力強い投資が継続したことから、売上高は堅調に推移いたしました。

利益につきましては、付加価値の高いTOWA独自技術のコンプレッション金型・装置の売上高比率が増加したことや、生産方式の見直しにより、リードタイムの短縮や在庫削減などを目指したプロジェクト（MIPプロジェクト）が順調に進み、会計上の評価損が減少したことなどから、収益性が改善いたしました。

以上の結果、売上高113億53百万円（前年同期比14億45百万円、14.6%増）、営業利益10億55百万円（前年同期は営業損失2億76百万円）となりました。

[ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、売上高8億13百万円（前年同期比28百万円、3.6%増）、営業利益1億40百万円（前年同期比38百万円、37.6%増）となりました。

[レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業における経営成績は、世界経済の停滞や先行き不透明感を背景に、汎用電子部品に対する設備投資への慎重さが続いたことから、売上高7億2百万円（前年同期比2億45百万円、25.9%減）となりました。また、利益につきましては経費削減などに取り組んだものの売上高が大きく落ち込んだ結果、営業損失1億8百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高につきましては、次世代通信規格「5G」向け関連投資の拡大や、半導体の内製化に向けた中国での投資が力強く、半導体製造装置の需要は下期以降も堅調に推移することが予想されるものの、一方で、世界経済の先行き懸念から、自動車や産業機械関連の需要が弱く、汎用電子部品向けのレーザ装置や自動車部品向けの受託加工に勢いがみられないこと、また足元ではこれらの需要に回復の兆しが見えつつあるものの先行きは未だ不透明なことから、当初予想を下回る見込みです。

利益につきましては、売上高が減少するものの、TOWA独自技術のコンプレッション金型・装置の販売が引き続き堅調に推移すること、また、生産方式の見直しによる在庫削減効果が下期以降も改善されることから各段階利益は当初予想を上回る見込みです。

以上のことから当社は、通期の業績予想を修正することといたしました。

なお、当期末の配当予想につきましては、2020年5月28日に公表しました内容（1株につき16円）から修正はございません。

詳細につきましては、本日（2020年11月9日）公表いたしました「2021年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,015,966	10,689,986
受取手形及び売掛金	7,053,977	7,791,128
電子記録債権	53,369	28,463
商品及び製品	1,780,075	1,826,160
仕掛品	4,291,644	3,882,279
原材料及び貯蔵品	582,708	459,557
その他	777,925	997,771
貸倒引当金	△1,579	△1,150
流動資産合計	24,554,088	25,674,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,112,850	16,302,284
減価償却累計額	△10,488,132	△10,706,877
建物及び構築物 (純額)	5,624,718	5,595,406
機械装置及び運搬具	10,915,728	11,010,727
減価償却累計額	△8,466,471	△8,720,561
機械装置及び運搬具 (純額)	2,449,257	2,290,166
土地	4,341,168	4,345,770
リース資産	860,172	888,509
減価償却累計額	△65,990	△121,325
リース資産 (純額)	794,181	767,183
建設仮勘定	72,042	656,219
その他	3,556,561	3,675,381
減価償却累計額	△3,056,973	△3,147,047
その他 (純額)	499,587	528,333
有形固定資産合計	13,780,955	14,183,079
無形固定資産	686,836	626,432
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	70,264	89,878
その他	4,032,788	4,168,873
投資その他の資産	4,103,052	4,258,751
固定資産合計	18,570,844	19,068,263
資産合計	43,124,932	44,742,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,648,428	1,532,714
電子記録債務	1,070,160	1,025,208
短期借入金	3,800,000	3,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,136,875	1,199,375
未払法人税等	290,592	270,154
製品保証引当金	157,812	161,694
賞与引当金	531,215	672,232
役員賞与引当金	30,531	9,458
その他	1,937,784	1,952,544
流動負債合計	10,603,400	10,323,382
固定負債		
長期借入金	4,450,000	5,280,000
退職給付に係る負債	726,737	749,356
その他	326,971	275,666
固定負債合計	5,503,709	6,305,022
負債合計	16,107,110	16,628,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	16,827,341	17,316,374
自己株式	△11,391	△11,482
株主資本合計	26,210,813	26,699,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,356,618	1,633,216
為替換算調整勘定	△582,209	△438,403
退職給付に係る調整累計額	△59,478	△55,603
その他の包括利益累計額合計	714,930	1,139,210
非支配株主持分	92,079	275,089
純資産合計	27,017,822	28,114,055
負債純資産合計	43,124,932	44,742,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,641,802	12,869,831
売上原価	8,959,104	8,966,181
売上総利益	2,682,697	3,903,649
販売費及び一般管理費	2,864,507	2,815,924
営業利益又は営業損失(△)	△181,810	1,087,725
営業外収益		
受取利息	26,419	14,516
受取配当金	29,981	19,207
補助金収入	7,957	185,721
奨励金収入	—	31,941
雑収入	33,869	34,330
営業外収益合計	98,228	285,717
営業外費用		
支払利息	27,517	27,682
為替差損	167,281	108,955
雑損失	4,699	9,007
営業外費用合計	199,498	145,645
経常利益又は経常損失(△)	△283,080	1,227,796
特別利益		
固定資産売却益	324	10,427
特別利益合計	324	10,427
特別損失		
固定資産除却損	683	1,853
その他	—	13
特別損失合計	683	1,866
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△283,439	1,236,357
法人税等	△74,818	346,761
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△208,621	889,595
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,478	414
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△201,143	889,180

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△208,621	889,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	200,435	276,598
為替換算調整勘定	△625,819	146,535
退職給付に係る調整額	△2,146	3,875
その他の包括利益合計	△427,530	427,009
四半期包括利益	△636,152	1,316,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△620,273	1,313,461
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,878	3,143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。